

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#05 文字列の基本 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次</p> <p>龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 10</p>	<p>manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル名は指定の通りにすること ■ ファイル形式は指定の通りにすること ■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく) <p>提出ファイル不足(特に「説明と考察」): その回は 0 点とする場合あり</p> <p>2 / 10</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一文字づつ手打ちで入力: 体を動かして頭の中に叩き込む ■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの) ■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど) <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など) ■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと. ■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像) <p>説明と考察: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: テキストファイル (.txt) ■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと. ■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明 ■ (不可: Word や PDF など) ■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない) <p>3 / 10</p>
	実習 A	実習 B
<p>実習</p> <p>4 / 10</p>	<p>p.249, List 8-11 (標準入力から読んだ数字文字のカウント) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j05a.c (C 言語ソースコード) ■ j05a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j05a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>5 / 10</p>	<p>p.260, List 9-4 (文字列の読み込み) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j05b.c (C 言語ソースコード) ■ j05b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j05b.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>6 / 10</p>

	課題	課題 (説明のつづき)
課題	<div>(教科書にはありません) List 8-11 (p.249) のプログラムをもとにして、数字文字の出現回数を * を並べたグラフで表示するプログラムを作成せよ。ただし、出現回数が 0 の数字文字の表示はしない。</div> <div></div>	<p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none">■ k05a.c (C 言語ソースコード)■ k05a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)■ k05a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>ヒント: ソースファイル k05a.c の超大雑把な構造</p> <pre>int main(void) { 変数宣言; 変数初期化; EOFが来るまで1文字読む (ただし数字ならカウントアップ); 結果をグラフ表示; return 0; }</pre>
おわり		